

平成23年第2回定例会

一般質問

～ 通告書順 ～

日付	順 番	議 員 名	党 名
6 月 22 日	1	佐藤 弘信	無 所 属
	2	佐川 勇司	無 所 属
	3	岡部 政一	無 所 属
	4	近内 光英	無 所 属
	5	岡部 淳一	日本共産党
	6	高木 節男	無 所 属
	7	佐藤 一夫	無 所 属

古殿町議会

順序	質問者	質問事項	要 旨
1	1 番 佐藤 弘信	1. 東日本大震災後の町内被災・被災者への対応について (答弁者：町 長)	(1) 被災された町民の方への支援策の基本的な取り組みの考え方は何か。 (2) 現に居住している母屋の屋根が被災した場合、修復に対しての上限を設けての補修補助金又は一律の被災見舞金の交付の考えはあるか。 (3) 原発事故の賠償の第2次指針が先ごろ発表されたが、4月まで出荷制限を受けたり、自治体から出荷自粛を要請されたりした地域が対象になっているということですが、町としての支援策は考えられないか。 (4) 放射能の影響で稲作の作付も例年より2週間前後の遅れで作付されたが、収穫時の放射能検測で基準値を上回る可能性もあるし、収穫しても風評被害で販売できないか低価格になる可能性も予想される。それらの対応を検討すべきと思うがどう考えるか。 (5) 震災により町の体育施設も被害を受けました。第1体育館も柱の亀裂・窓ガラスも割れる被害を受け、仮復旧されたようだが、被災の現状と今後の課題は何か。 (6) 町長は3期目の公約の中で、町体育施設の総合的な再整備を掲げておりますが、今度の被災した第1体育館の復旧を含めて、どのような構想を描いているのか。 (7) 今回の震災により町の観光資源である景観を楽しむ遊歩道等も被災したと聞いたが、その被災状況はどのようなになっているか。また復旧にはどのような方策を講じるのか。
2	2 番 佐川 勇司	1. 災害政策と道路等の復旧計画について (答弁者：町 長)	(1) 住宅付近に発生した地震による地盤亀裂は、今後土砂災害の危険性があると思う。危険性がある箇所は、町内のどの個所に発生しているのか。 (2) 自己所有地で、この震災復旧に対する国、県の支援はどのようなのか。また、町独自の支援策は。 (3) いわき石川線は、町の重要幹線であり、この路線の交通止めは、町にとって大打撃であります。この路線の交通止め解除の見通しと、町内各道路等の復旧計画は。 (4) 原発事故放射能に対する町民の不安や風評被害を打開するためにも、確かな情報と知識が必要と思う。専門家による講演・講座等を開催してはどうか。

順序	質問者	質問事項	要 旨
3	4 番 岡部 政一	<p>1. 千年に一度の巨大地震が起こした想定外の大震災を教訓にして</p> <p>(答弁者: 町 長)</p>	<p>(1) 東日本大震災を教訓としたとき、地域防災計画を再点検し、見直す考えはあるか。</p> <p>(2) 急傾斜地など危険箇所は何箇所あるのか。その対策は。</p> <p>(3) 通学道路等に落石、土砂崩れのある危険箇所を把握しているか。その対策は。</p> <p>(4) 町名が出る、度重なる余震は古い井戸沢断層が原因といわれるが、調べたことはないか。</p> <p>(5) 三株団地の災害復旧工事はいつになるのか。滝の平集会所の建設はいつになるのか。</p> <p>(6) 避難所、避難場所の指定、防災マップなど見直す必要はないか。</p> <p>(7) 原発事故が拡大し、放射線量が増え、避難対象区域になった場合の対策はあるのか。</p> <p>(8) 年間積算放射線量はいくらになるのか。町民の健康に影響はしないのか。</p> <p>(9) 農産物のスクリーニングを随時できないのか。放射線量計の貸し出しはできるのか。</p> <p>(10) 農産物の出荷制限や風評被害の賠償はどのようになるのか。</p>
4	12 番 近内 光英	<p>1. ふるどのクリニックの賃貸借契約の状況について</p> <p>(答弁者: 町 長・代表監査委員)</p>	<p>(1) 賃貸契約は締結したのか。</p>
		<p>2. 診療所開設に関する協定書の中の別紙に定める内容について</p> <p>(答弁者: 町 長・代表監査委員)</p>	<p>(1) 具体的にどのような物品を購入したのか、品目の明細を伺う。</p> <p>(2) 物品購入の手段、手続きについて、どのような法規等に基づき購入したのか。</p> <p>(3) 購入した物品が、正当なる対価で購入したのか。</p>
		<p>3. 今回のような想定外の災害に対応した基金等を設ける考えは</p> <p>(答弁者: 町 長・代表監査委員)</p>	<p>(1) 例として、災害時に診療所が行う医療行為に支障が生じたときの対処として、基金を設置しておいた方が良いと思うがどうか。</p>

順序	質問者	質問事項	要 旨
5	8 番 岡部 淳一	1. 町が所有する山林の現況と維持管理について (答弁者：町 長)	(1) 現在町が所有する山林は何か所、面積はどれくらいか。 (2) それぞれの山林の現況はどういう形態、維持管理はどうしているのか。 (3) 今後、バイオマスエネルギーと関連して、また、本質的な建築用材としての活用についてどう考えているのか。
		2. 東日本大震災の被災実態と対応、今後の対策は (答弁者：町 長)	(1) 町災害対策本部が地震対策で最重要課題とした事は何か。 (2) 被害の実態に関する調査はどのような手順で進められたのか。 (3) 調査後の被害対応策、住民への説明と情報提供は的確に実施されたのか。 (4) 地震が原因で発生したガレキ等の被災廃棄物処理に関して、町民の多くが今後も町が支援していくべきとの声にどう対処するのか。 (5) 住宅災害に対して型どおりの対応策ではなく、国県の動向は見ながらも独自の支援が必要だとの町民の声にどう応えるのか。 (6) 震災の状況を通して町防災計画の見直しは考えているのか。 (7) 古殿町に避難された方々の中に、個人的に住宅を借りて生活している方は現在もおられるのか。その調査は。
		3. 原子力発電所事故による古殿町への影響と現在の取り組みは (答弁者：町 長)	(1) 原発事故は人災であるか否か町長の認識は、また、事故対応に特化した特別立法についての見解は。 (2) 放射能に関する基本的な考え方と事故後に実施してきた具体的な対応策は。 (3) 乳幼児、児童生徒に対しての具体的な対応策は、また保護者の考えは調査したのか。 (4) 放射能による農業被害の内容と金額、損害賠償は進んでいるのか。また、風評被害の実態をどう見ているのか。対応策は。 (5) 組織的農業生産者だけでなく、個人の農産物出荷者も被害にあっている町が窓口となって対応しているのか。 (6) 事故の現状は予断を許さない深刻なものであり、今後避難などの事態も考えられる。そのための具体的な方策は考えているか。

			(7) 原発事故は、人間社会を根底から崩壊させるものであり、原発は当然全部廃炉の方向を目指すべきと思うが町長の見解は
6	3番 高木 節男	1. 大震災後の町民の安心対策は (答弁者：町 長)	(1) 今回における災害時の対応などで、緊急通報や避難対応などの問題点は無かったか。 (2) 放射能や余震の不安の中、災害後の町民に対して、安心して生活できる対策をどの様に実施してきたのか。 (3) 放射能による住民の不安を取り除く対策として、各地域の放射線のモニタリングを強化し調査結果と放射能の健康に対する影響などの周知徹底の考えはあるか。 (4) 子供達を放射線から守り、将来への不安を取り除き安心な生活を送る対策などの考えはあるのか。 (5) 今後の対応策として、防災計画の見直しなどは検討されているのか。
		2. 町づくりの展望は (答弁者：町 長)	(1) 町長の求めている10年後のビジョンとは、どのようなものか。3年前にも伺ったが、住んで良かった、住んでみたいと言われるような町づくりはなされているのか。 (2) 町民と行政が一体の協働の町づくりの具体的な施策はどのようなものか。 (3) 若い時から町づくりにビジョンを求めた町長が、若者の夢とやる気を応援するような施策は何か。 (4) 森林の町づくり今後の計画は。
7	6番 佐藤 一夫	1. 平成23年度、重点事業執行の取り組みと、町の将来像について (答弁者：町 長)	(1) 今年度、計画されている重点事業の見直し等は考えているのか。 (2) 当面は、自立可能な町づくりを基本方針としているが、長期化が避けられない災害復興と原発事故の収束という状況で、その根拠となる財源や財政運営、並びに振興策について、どのような構想を持っているのか。